

# インフラ長寿命化計画（個別計画）



令和6年 3 月

目次	2
1. インフラ長寿命化計画の背景・目的等	
(1) 背景・目的	4
(2) 計画期間	5
(3) 対象施設	5
1) 彦根団地	5
2) 石山団地	6
3) 膳所団地	6
4) あかね団地	6
2. 学校施設の現状	
(1) 学校施設の配置状況	7
1) 学校施設の配置状況	7
2) 施設関連経費の推移	8
3) 学校施設の整備状況	9
(2) 学校施設の老朽化の実態	10
1) 建物およびライフラインの経年状況	10
2) 構造躯体の健全性評価及び構造躯体 以外の劣化状況等の評価	14
3. 学校施設整備の基本的な方針	
(1) 改修等の基本的な方針	15
1) 長寿命化の方針	15
2) 予防保全の方針	15
3) 目標使用年数の設定	15
4) 改修周期の設定	15
5) その他	15

4. 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等	
(1) 改修等の整備水準	・ ・ ・ ・ ・ 1 6
(2) 維持管理の項目	・ ・ ・ ・ ・ 1 7
5. 長寿命化の実施計画	
(1) 改修等の実施計画	・ ・ ・ ・ ・ 1 8
(2) 長寿命化のコストの見通し・縮減の検討	・ ・ ・ ・ ・ 2 0
1) 個別修繕経費の把握（第一段階）	・ ・ ・ ・ ・ 2 0
2) 施設整備費補助金等での 予算措置検討（第二段階）	・ ・ ・ ・ ・ 2 1
(3) コスト縮減の検討	・ ・ ・ ・ ・ 2 2

# 1. インフラ長寿命化計画の背景・目的等

## (1) 背景・目的

政府全体の取組みとして、国民生活やあらゆる社会経済活動を支える各種施設をインフラとして幅広く対象とし、戦略的な維持管理・更新等の方向性を示す基本的な計画である「インフラ長寿命化基本計画」（以下「基本計画」という。）が策定された。この基本計画を受け、文部科学省では、所管施設の維持管理等を着実に推進するための中期的な取組みの方向性を明らかにするため、「文部科学省インフラ長寿命化計画（行動計画）」を平成27年3月に策定し、所管施設の長寿命化に向けた各設置者における取組を一層推進することとしている。

本学においても、今後、老朽施設の増大、ライフラインの故障の増加が予想される。

現在の厳しい財政状況の中、メンテナンスサイクルの構築による安全・安心の確保や予防保全型維持管理の導入、必要性の低い施設の統廃合等によるトータルコストの縮減・予算の平準化等の取組みを推進する必要がある。

本計画はキャンパス内の建物の老朽状況を把握しキャンパス全体の必要経費を算出する。算出した必要経費の平準化を図れるよう、施設整備年次計画を策定し継続的に老朽改修を実施していくことを目的としている。

## (2) 計画期間

令和2年～令和61年（5年ごとに見直し）

## (3) 対象施設

平成15年度時点に耐震診断・耐震改修を行う建物として登録された建物（講堂・陵水会館を除く）及び新耐震基準の建物のうち200㎡を超える建物を対象とする。（平成29年3月29日文科科学省公表「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」による。）

1) 彦根団地 (18棟)	建物名称	延べ面積	竣工(改修)年
	大合併講義室	605	1982
	データサイエンス棟	1,306	1984
	体育館	3,484	1986
	第2校舎棟	2,767	1994
	史料館	1,028	1994
	管理棟(クラブボックス)	212	1995
	国際交流会館	696	1999
	寮棟	590	2000
	寮棟	2,317	2000
	附属図書館棟	4,385	2009
	福利施設	1,702	2009
	課外活動施設A棟(クラブボックス)	282	2009
	課外活動施設B棟(クラブボックス)	282	2009
	校舎棟	5,318	2009
	課外活動施設C棟(クラブボックス)	282	2009
	本部・保健管理棟	2,672	2012
	士魂商才館	1,960	2013
	研究棟	5137	2017
		35,025	

2) 石山団地  
(19棟)

建物名称	延べ面積	竣工(改修)年
管理棟	413	1966
課外活動施設(クラブボックス)	723	1976
講義室	266	1977
人文・社会・教育棟	3,548	1981
音楽棟	810	1982
大講義室	787	1983
美術・技術・職業棟	2,005	1984
福利施設	1,419	1984
体育館	1,872	1994
自然環境教育施設	476	1996
研究棟	1,875	2001
びわ湖・瀬田川オブザベトリ	287	2007
女子寮棟	988	2009
男子寮棟	707	2009
創造学習センター	413	2009
管理部・附属図書館棟	3,513	2012
環境総合研究センター	410	2018
講義棟	3,642	2020
自然科学棟	3,853	2023
計	28,007	

※自然科学棟はR5.3に建物の半分が改修済み。R6年度中に残りの半分为改修予定。

3) 膳所団地  
(9棟)

建物名称	延べ面積	竣工(改修)年
附属幼稚園園舎	785	1965
附属小学校体育館	722	1966
附属中学校体育館	1,183	1966
附属中学校武道場	350	1988
附属小学校校舎Ⅰ	980	1993
附属中学校校舎Ⅰ	3,355	2004
附属中学校校舎Ⅱ	917	2004
附属小学校校舎Ⅱ	4,022	2008
附属小中学校共用校舎	1,271	2009
計	13,585	

4) あかね団地  
(3棟)

建物名称	延べ面積	竣工(改修)年
日常生活訓練施設	463	1989
校舎	2,529	2024
体育館	599	2024
計	3,591	

※体育館はR6.3に改修済。校舎は建物の北側建物が改修済み。R6年度残り半分改修予定。

## 2. 学校施設の現状

### (1) 学校施設の配置状況

#### 1) 学校施設の配置状況

配置状況は以下のとおり。

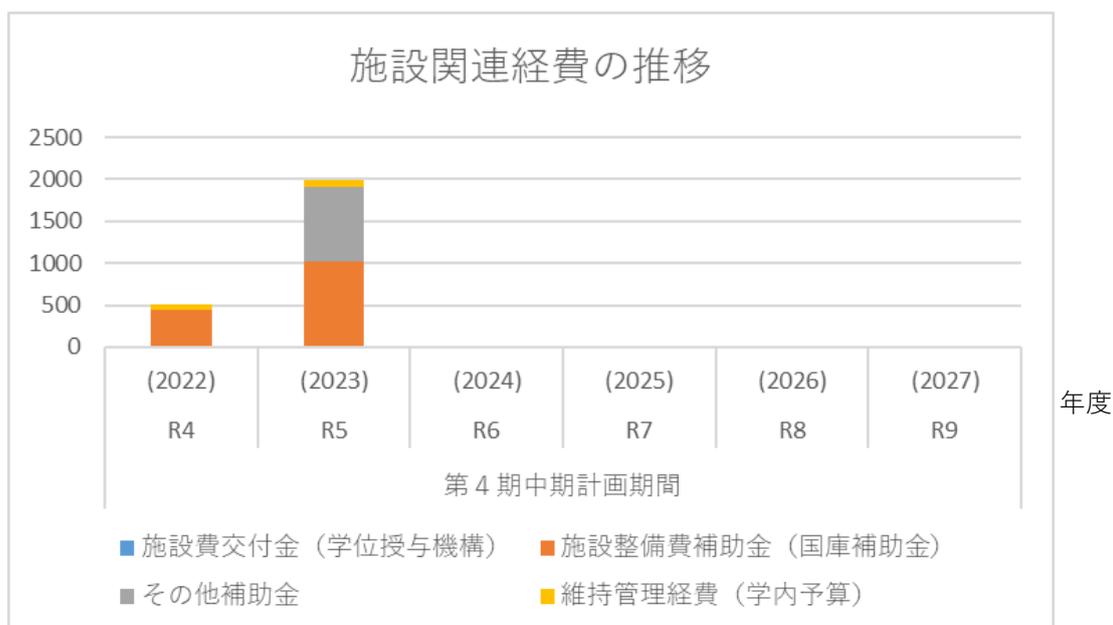
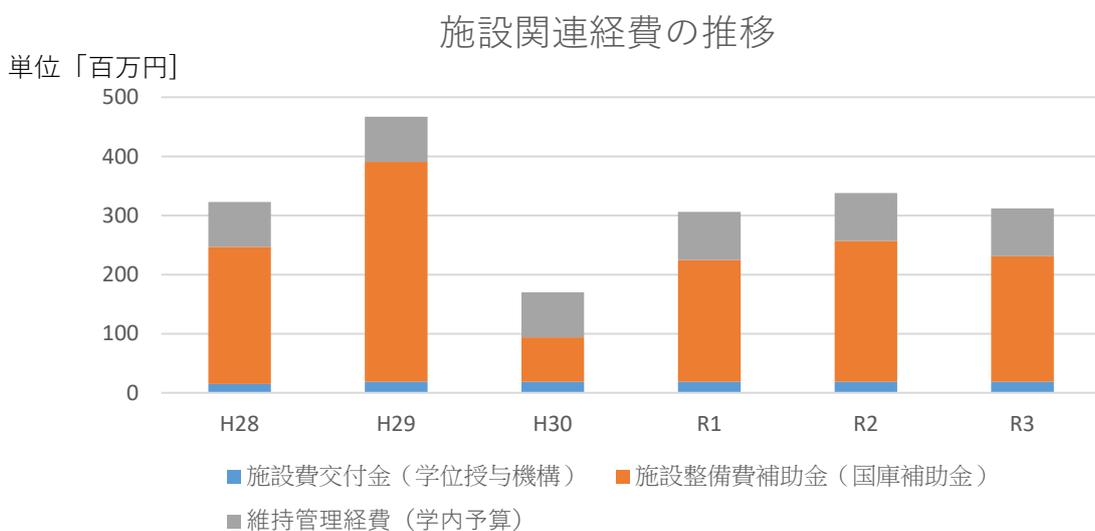


本学のキャンパスは大きく彦根地区（本部・経済学部・データサイエンス学部）と石山地区（教育学部、附属小中学校、附属特別支援学校）に分かれており、地区間はおおよそ50km離れている。

## 2) 施設関連経費の推移

運営費交付金が減りつつある中、施設整備費補助金も例外ではなく、平成26年度の当初予算約490億円を境に年々減少し、令和元年度には350億円まで減少している。そのような状況の中、大学としても研究棟耐震改修や講堂改修、ライフライン再生等施設整備費補助金の確保に努力している。（下表参照）

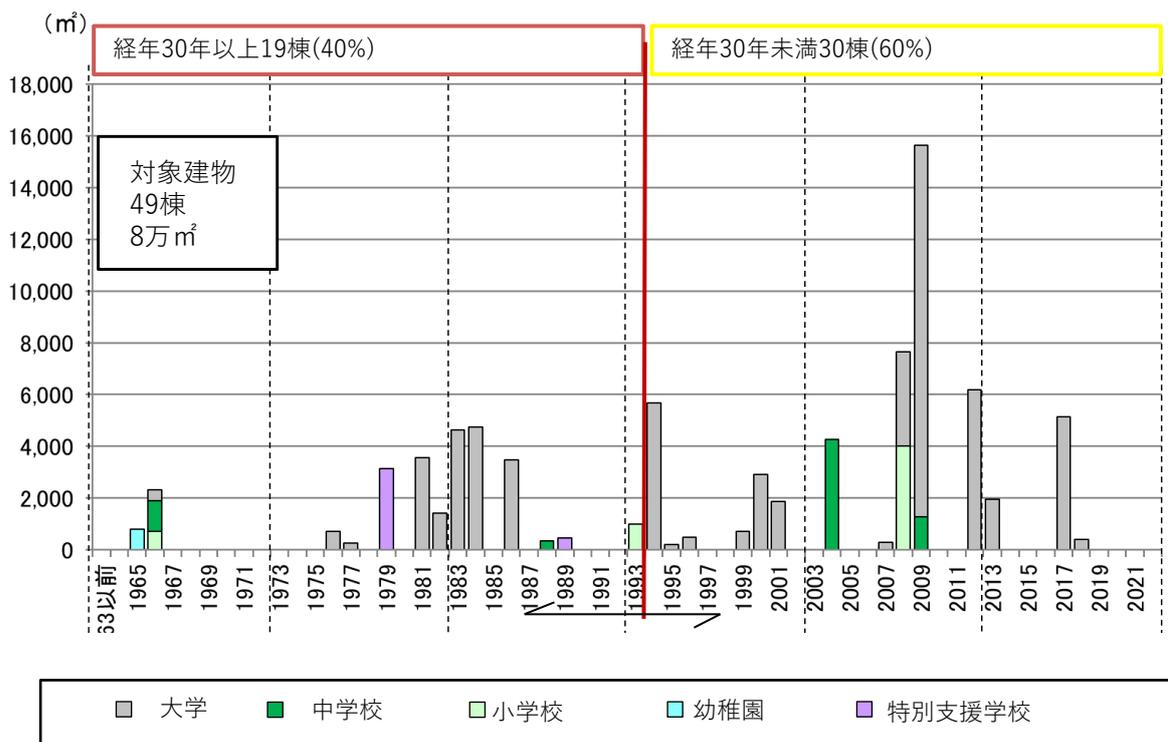
しかし、老朽化する施設の施設維持管理経費を全て確保することができず、コスト縮減や施設維持管理経費の確保が問題となっている。



### 3) 学校施設の整備状況

建物については経年30年以上の建物が多数あり、今後多くの施設維持管理経費が必要である。

#### 経年別整備状況



ライフラインについては経年30年を目途に更新を順次行う。

#### ライフライン年次計画表

	令和元年度	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
1	彦根給排水設備 I・II	石山他電気設備 I・彦根地区電気設備 I	石山空調改修II	膳所トイレ改修		膳所トイレ改修	膳所電気設備I
2	膳所他給排水設備 I・II	石山空調改修1 彦根昇降機 あかねトイレ改修	石山トイレ改修	彦根トイレ改修			

## (2) 学校施設の老朽化の実態

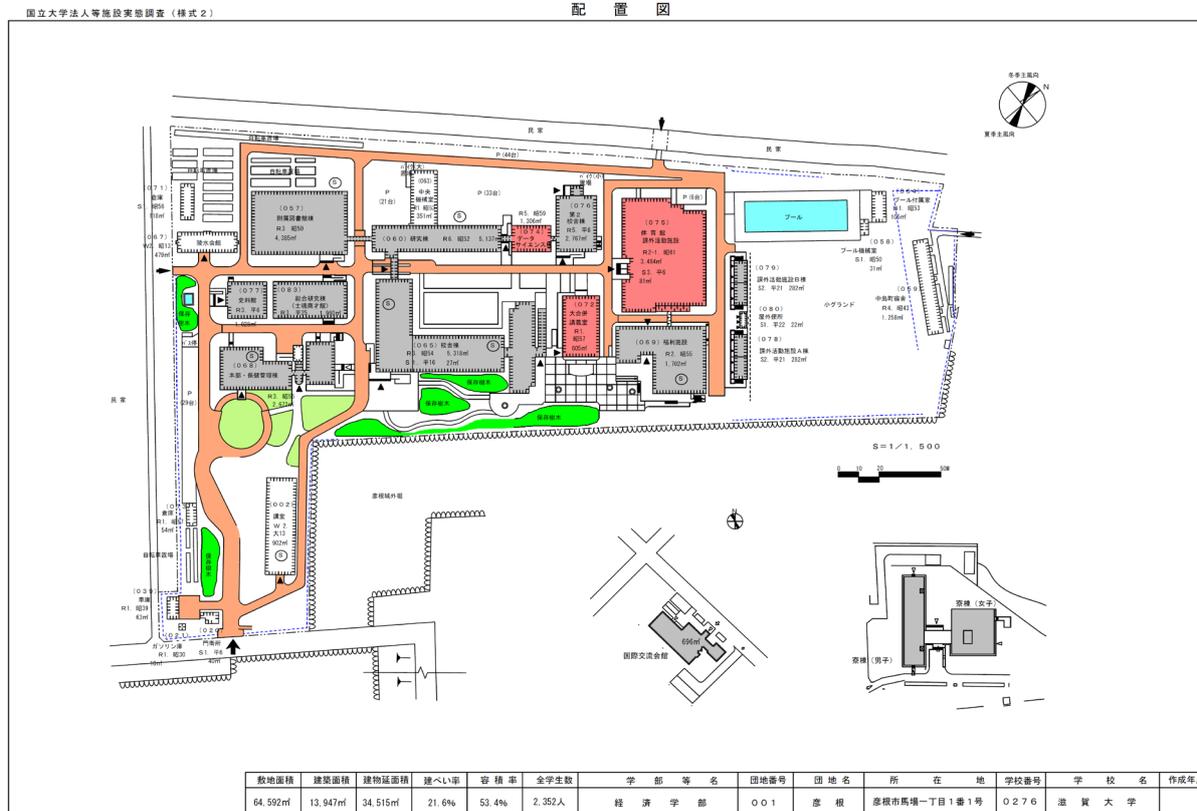
### 1) 建物およびライフラインの経年状況

・彦根団地

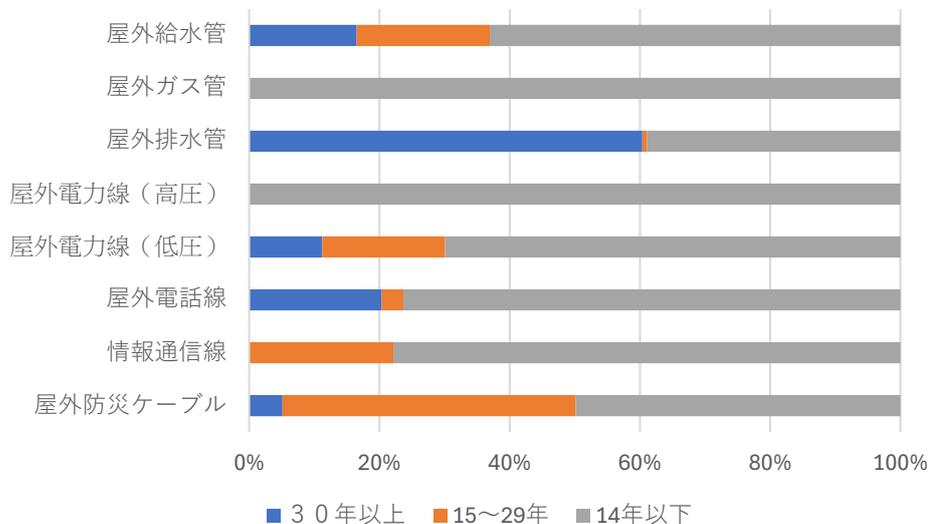
建物（老朽化の状況 R5.4.1）

凡例

- 経年50年以上
- 経年30年～49年
- 経年29年未満



### ライフライン（老朽化の状況 R5.4.1）



・石山団地

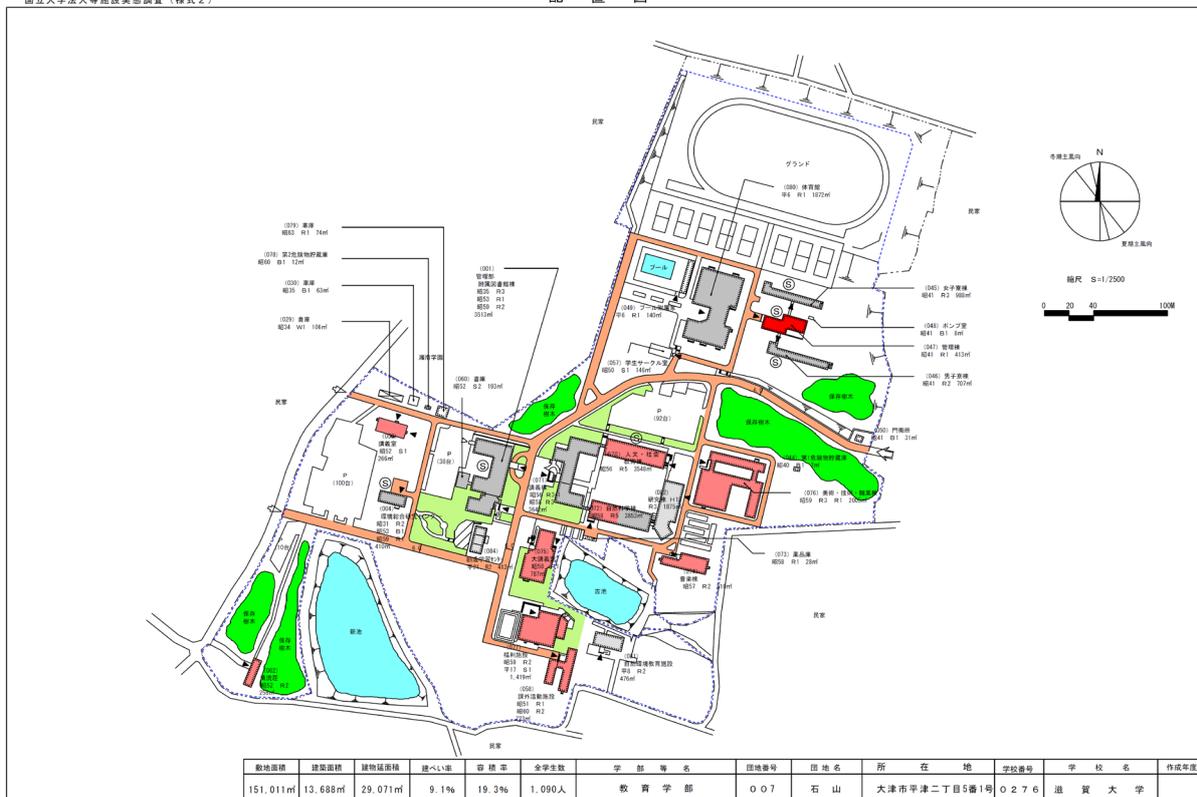
凡例

- 経年50年以上
- 経年30年～49年
- 経年29年未満

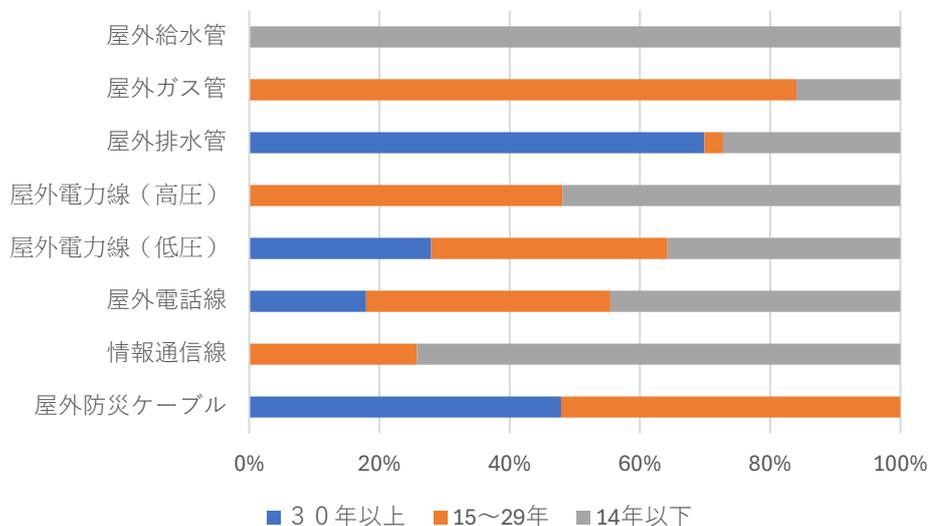
建物（老朽化の状況 R5.4.1）

国立大学法人等施設実態調査（様式2）

配置図



ライフライン（老朽化の状況 R5.4.1）

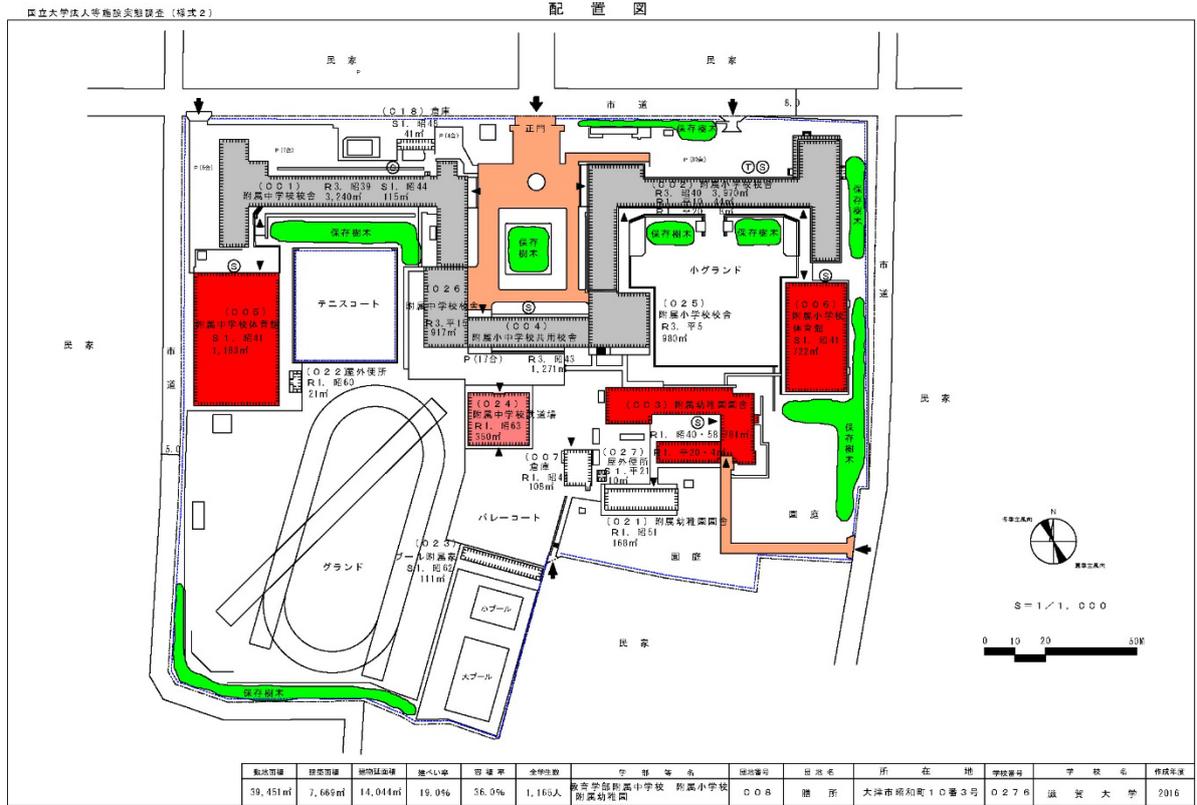


・膳所団地

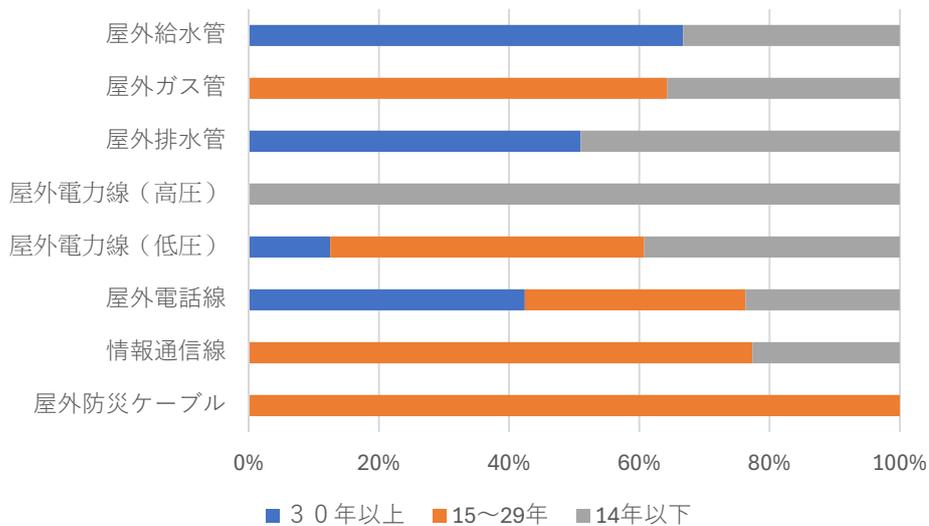
建物（老朽化の状況 R5.4.1）

凡例

- 経年50年以上
- 経年30年～49年
- 経年29年未満



ライフライン（老朽化の状況 R5.4.1）

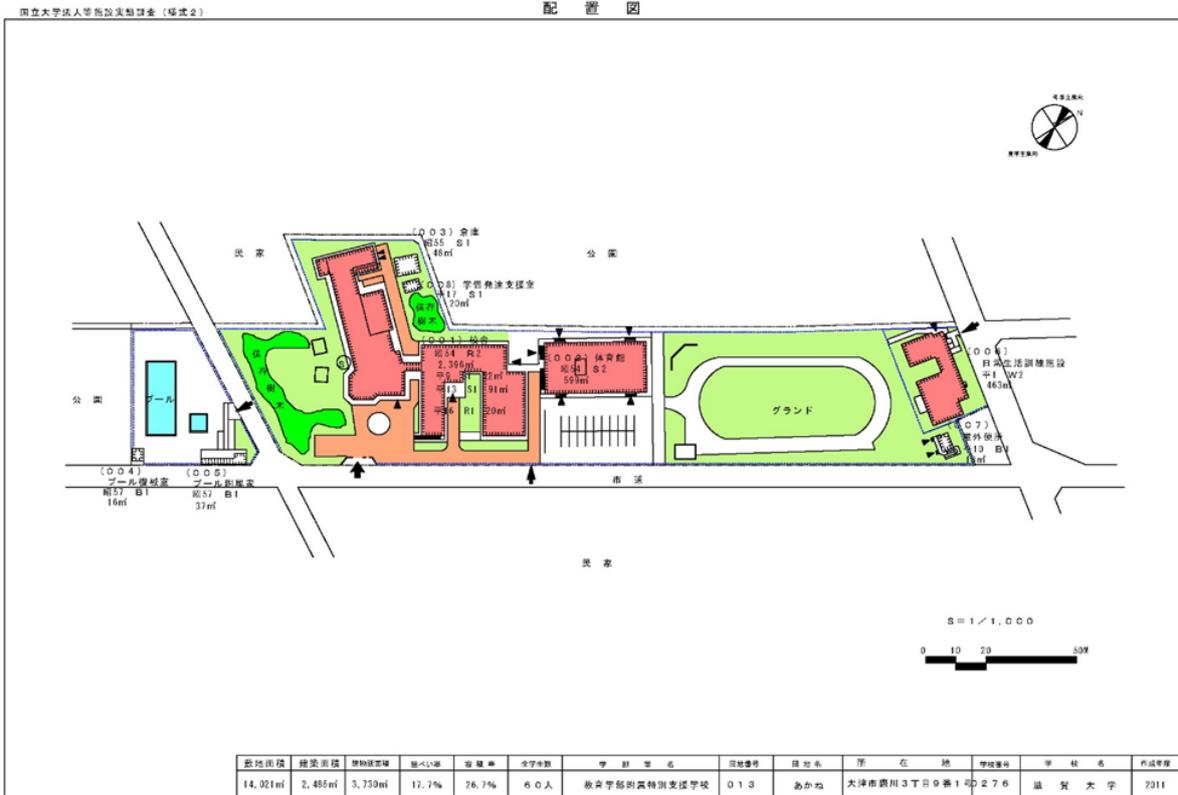


・あかね団地

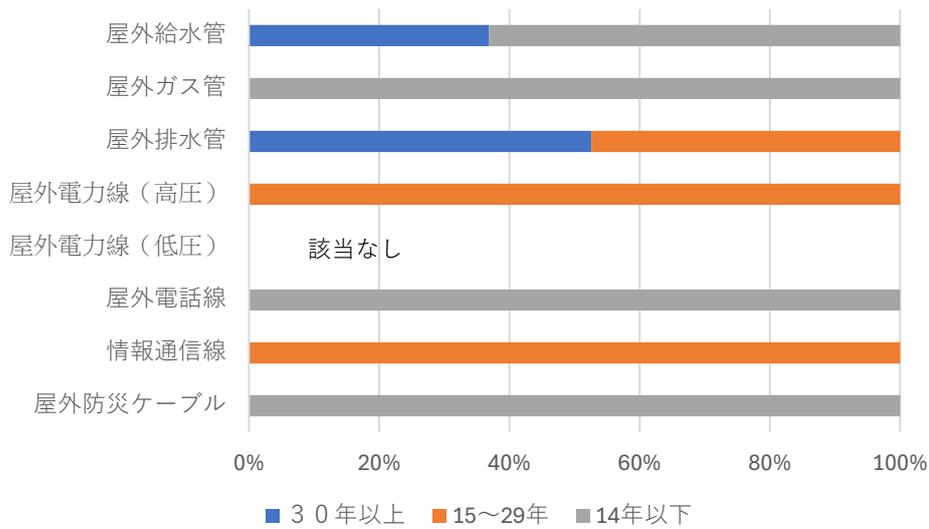
建物（老朽化の状況 R5.4.1）

凡例

- 経年50年以上
- 経年30年～49年
- 経年29年未満



ライフライン（老朽化の状況 R5.4.1）



## 2) 構造躯体の健全性評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

建物情報一覧表

建物基本情報										構造躯体の健全性			劣化状況評価					備考	
団地	施設名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		改修年度		経過年数	耐震安全性			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備		健全度 (100点満点)
					西暦	和暦	西暦	和暦		基準	診断	補強							
彦根	大合併講義室	RC	1	605	1982	S57	37	1982	S57	42	新	不要	不要	B	B	B	B	B	75
彦根	データサイエンス棟	RC	5	1306	1984	S59	35	1984	S59	40	新	不要	不要	A	A	A	A	B	97
彦根	体育館	RC	2	3484	1986	S61	33	1986	S61	38	新	不要	不要	A	A	B	A	A	91
彦根	第2校舎棟	RC	5	2767	1994	H6	25	1994	H6	30	新	不要	不要	A	A	B	A	A	91
彦根	史料館	RC	3	1028	1994	H6	25	1994	H6	30	新	不要	不要	A	A	B	A	A	91
彦根(中島)	管理棟	RC	2	212	1995	H7	24	1995	H7	29	新	不要	不要	B	B	B	B	B	75
彦根(城町)	国際交流会館	RC	3	696	1999	H11	20	1999	H11	25	新	不要	不要	A	A	B	B	B	84
彦根(長曾根)	寮棟	RC	1	590	1968	S43	51	2000	H21	24	旧	済	済	A	A	A	B	B	94
彦根(長曾根)	寮棟	RC	4	2317	1968	S43	51	2000	H21	24	旧	済	済	A	A	A	B	B	94
彦根	附属図書館棟	RC	3	4385	1975	S50	44	2009	H21	15	旧	済	済	B	B	B	A	B	78
彦根	福利施設	RC	2	1702	1980	S55	39	2009	H21	15	旧	済	済	A	A	B	A	B	88
彦根	課外活動施設A棟	S	2	282	2009	H21	10	2009	H21	15	新	不要	不要	A	A	B	A	A	91
彦根	課外活動施設B棟	S	2	282	2009	H21	10	2009	H21	15	新	不要	不要	A	A	B	A	A	91
彦根	校舎棟	RC	3	5318	1979	S54	40	2009	H21	15	旧	済	済	A	A	A	A	B	97
彦根(中島)	課外活動施設C棟	S	2	282	2009	H21	10	2009	H21	15	新	不要	不要	A	A	A	-	-	100
彦根	本部・保健管理棟	RC	3	2672	1980	S55	39	2012	H24	12	旧	済	済	A	A	A	A	A	100
彦根	土魂商才館	RC	3	1960	2013	H25	6	2013	H25	11	新	不要	不要	A	A	A	A	A	100
彦根	研究棟	RC	6	5137	1977	S52	42	2017	H29	7	旧	済	済	A	A	B	A	B	88
石山	管理棟	RC	1	413	1966	S41	53	1966	S41	58	旧	済	不要	B	B	B	B	B	75
石山	課外活動施設	RC	1	723	1976	S51	43	1976	S51	48	旧	済	不要	B	B	C	C	C	53
石山	講義室	S	1	266	1977	S52	42	1977	R1	47	旧	済	不要	B	B	C	C	C	53
石山	人文・社会・教育棟	RC	5	3548	1981	S56	38	1981	S56	43	旧	済	不要	C	C	C	B	B	49
石山	音楽棟	RC	2	810	1982	S57	37	1982	S57	42	新	不要	不要	A	B	B	B	B	77
石山	大講義室	RC	1	787	1983	S58	36	1983	S58	41	新	不要	不要	A	A	B	B	B	84
石山	美術・技術・職業棟	RC	1	2005	1984	S59	35	1984	S59	40	新	不要	不要	C	C	B	B	B	62
石山	福利施設	RC	2	1419	1984	S59	35	1984	S59	40	新	不要	不要	B	B	B	B	B	75
石山	体育館	RC	1	1872	1994	H6	25	1994	H6	30	新	不要	不要	D	C	B	B	B	59
石山	自然環境教育施設	RC	2	476	1996	H8	23	1996	H8	28	新	不要	不要	B	A	B	B	B	82
石山	研究棟	RC	3	1875	2001	H13	18	2001	H13	23	新	不要	不要	A	A	A	A	A	100
石山	びわ湖・瀬田川オブザベ	S	2	287	2007	H19	12	2007	H19	17	新	不要	不要	A	A	C	A	A	78
石山	女子寮棟	RC	3	988	1966	S41	53	2009	H21	15	旧	済	済	A	B	C	C	C	55
石山	男子寮棟	RC	2	707	1966	S41	53	2009	H21	15	旧	済	済	C	C	B	B	B	62
石山	創造学習センター	RC	2	413	2009	H21	10	2009	H21	15	新	不要	不要	A	A	A	A	A	100
石山	管理部・附属図書館棟	RC	3	3513	1960	S35	59	2012	H24	12	旧	済	済	B	A	B	A	B	86
石山	環境総合研究センター	RC	2	410	1956	S31	63	2018	H30	6	旧	済	済	A	A	A	A	A	100
石山	講義棟	RC	3	3642	1977	S52	42	2020	R1	4	旧	済	済	A	A	A	A	A	100
石山	自然科学棟	RC	5	3853	1983	S58	36	2022	R4	2	新	不要	不要	A	B	B	B	B	77
膳所	附属幼稚園園舎	RC	1	785	1965	S40	54	1965	S40	59	旧	済	不要	B	C	C	B	B	52
膳所	附属小学校体育館	S	1	722	1966	S41	53	1966	S41	58	旧	済	不要	B	B	C	C	C	53
膳所	附属中学校体育館	S	1	1183	1966	S41	53	1966	S41	58	旧	済	不要	A	B	B	C	C	68
膳所	附属中学校武道場	RC	1	350	1988	S63	31	1988	S63	36	新	不要	不要	B	B	B	B	B	75
膳所	附属小学校校舎	RC	3	980	1993	H5	26	1993	H5	31	新	不要	不要	A	A	B	B	B	84
膳所	附属中学校校舎	RC	3	3355	1964	S39	55	2004	H16	20	旧	済	済	B	B	B	C	C	66
膳所	附属中学校校舎	RC	3	917	2004	H16	15	2004	H16	20	新	不要	不要	B	B	A	A	A	91
膳所	附属小学校校舎	RC	3	4022	1965	S40	54	2008	H20	16	旧	済	済	B	B	C	C	C	53
膳所	附属小中学校共用校舎	RC	3	1271	1968	S43	51	2009	H21	15	旧	済	済	B	B	B	C	C	66
あかね	日常生活訓練施設	W	2	463	1989	H元	30	1989	H元	35	新	不要	不要	C	B	B	B	B	72
あかね	校舎	RC	2	2529	1979	S54	40	2023	R5	1	旧	済	不要	B	B	B	B	B	75
あかね	体育館	S	2	599	1979	S54	40	2023	R5	1	旧	済	不要	A	A	A	A	A	100

凡例

■ 経年50年以上  
■ 経年30年以上  
(基準年2023)

RC	鉄筋コンクリート造
S	鉄骨造
W	木造

耐震安全性	基準	新	新耐震
		旧	旧耐震
	診断	済	診断済み
		不要	新耐震のため診断不要
	補強	済	補強済み
		不要	補強不要

劣化状況評価	A	概ね良好
	B	部分的に劣化
	C	広範囲に劣化
	D	早急に対応する必要あり

### 3. 学校施設整備の基本的な方針

#### (1) 改修等の基本的な方針

##### 1) 長寿命化の方針

既設建物で残す建物、取り壊す建物を判別し（トリージ）、残す建物については周期的に改修を行い、戦略的な施設マネジメントを行う。

##### 2) 予防保全の方針

建物に付随する既存の設備(給排水管、電気配線等)は建物の改修周期にあわせて更新を行い、突発的な故障発生を防ぐ。

##### 3) 目標使用年数の設定

建物 80年

##### 4) 改修周期の設定

建物については20年目、60年目を目途に現状機能の回復を主とした大規模改造を行い、40年目を目途に機能向上を含む長寿命化改修を行う。

	目標使用年数	大規模改造の周期	長寿命化改修の周期
建物	80年	20年目 60年目	40年目

現状



改修 ↓ 工事

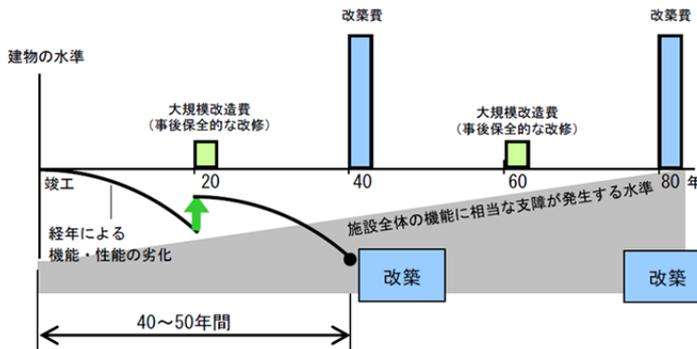


共通スペース

戦略的な施設マネジメントイメージ図

#### 改築中心（従来型）から長寿命化型への転換イメージ

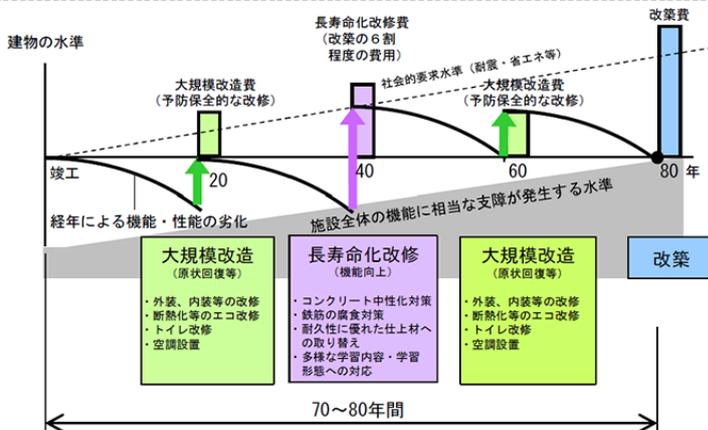
改築中心のイメージ



- 約20年で経年による機能・性能の劣化した部分を事後保全するために大規模改造を実施
- 約40年で施設全体の機能に相当な支障が発生する水準になった段階で改築を実施

→約80年のサイクルの中で2回の改築コストが必要

長寿命化改修のイメージ



長寿命化改修への転換

- 約20年で経年による機能・性能の劣化した部分を現状回復するための予防保全を含めた大規模改造を実施
- 約40年で改築に代わる長寿命化改修を実施し、約80年で改築

→約80年のサイクルの中でのトータルコストを低減

##### 5) その他

ライフラインについては30年を目途に更新を行う。

## 4. 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

### (1) 改修等の整備水準

大学の施設維持管理経費は限られているため、戦略的な施設マネジメント（スペースチャージH30年度実績で年間約4,000千円の収入）や好循環リノベーション（LED化推進実績でH30年度年間3,800千円の電気代を削減）を推進することにより、費用体効果のある整備を実施し、施設維持管理経費を確保する取組を行っている。

上記の取組を念頭に本学では基本的な整備水準を定め、学内の不良個所の点検を行い、財務・施設マネジメント委員会で評価し、評価点数の高い事項から逐次整備を進めている。

#### 基本的な整備水準

評価項目	評価			
	高い		低い	
1. 危険度 ・現状の施設環境を技術的に見て、人的危険度があるか	極めて高い (10点)	やや高い (5点)	低い (1点)	ない (0点)
2. 老朽度	(建築) 経年40年以上 (設備) 経年30年以上 (5点)	(建築) 経年30年以上 40年未満 (設備) 経年20年以上 30年未満 (3点)	(建築) 経年20年以上 30年未満 (設備) 経年10年以上 20年未満 (1点)	(建築) 経年20年未満 (設備) 経年10年未満 (0点)
3. 劣化度	状態が劣悪 (5点)	状態が悪い (3点)	状態が悪くなりつつある (1点)	状態は悪くない (0点)
4. その他の理由による緊急性・必要性 ・機能改善の緊急性・必要性 ・社会ルールに対する大学としての責任性 ・学生生活実態調査の施設整備要望事項の緊急性・必要性 ・キャンパスアメニティの改善の必要性	高い (5点)	普通 (3点)	低い (1点)	ない (0点)

## (2) 維持管理の項目

点検項目（劣化状況評価）の例を下記に示す。

5 年ごとに点検を実施

通し番号	2		
学校名	経済学部	学校番号	50
建物名	研究棟	調査日	
棟番号	060	記入者	
構造種別	RC	建築年度	昭和52年度(1977年度)
	延床面積	5,137 m <sup>2</sup>	階数
			地上 6階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防	H28	防水改修	<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある			A
	<input type="checkbox"/> アスファルト露出防水			<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある			
	<input checked="" type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水			<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板)			<input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類)			<input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある			
	<input type="checkbox"/> その他の屋根 ( )			<input type="checkbox"/> 樋やルーフトレを目視点検できない			
				<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	<input type="checkbox"/> 塗仕上げ	H28	建具改修	<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある			A
	<input checked="" type="checkbox"/> タイル張り、石張り			<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 金属系パネル			<input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ			
	<input type="checkbox"/> コンクリート系パネル(ALC等)			<input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている			
	<input type="checkbox"/> その他の外壁 ( )			<input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある			
	<input checked="" type="checkbox"/> アルミ製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 鋼製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	<input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽			
				<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	<input checked="" type="checkbox"/> 老朽改修	H28		B
	<input type="checkbox"/> エコ改修			
	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> 校内LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置			
	<input type="checkbox"/> 障害児等対策			
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修			A
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事			
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検			
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修			B
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検			
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)

健全度
88 / 100点

## 5. 長寿命化の実施計画

### (1) 改修等の実施計画

R3からR7年の施設整備年次計画

[百万円]

事業名称	2021			2022			2023			2024			2025		
	R3			R4			R5			R6			R7		
	団地	棟名称	事業費	団地	棟名称	事業費	団地	棟名称	事業費	団地	棟名称	事業費			
新增築事業										彦根	イニシアティブ棟				
改築事業															
耐震化事業 (非構造部材の 対策含む)															
長寿命化改修				石山	自然科学棟I		あかね	校舎I (体育館舎)		石山	自然科学棟II		石山	人文・社会・教育棟	
大規模改造(老朽)															
部位修繕							彦根	第2校舎棟外壁							
その他施設整備費	ライフライン (石山空調改修II)	284		ライフライン		2							ライフライン (膳所電気設備I)		
維持修繕費		47			47			37			37				37
保守契約		34			34			34			34				34

注記) 上記の施設整備年次計画はR6.3現在の計画であり予算化できない場合は随時(5年ごと)見直して行く。

#### 改訂歴

- R3.2 見直し (R3 石山空調II 実施)
- R4.3 見直し (R4 自然科学棟I 実施)
- R5.3 見直し (R5 あかね校舎I 実施)
- R6.3 見直し (R5 彦根第2校舎棟外壁改修  
R6 あかね校舎II・自然科学棟実施)

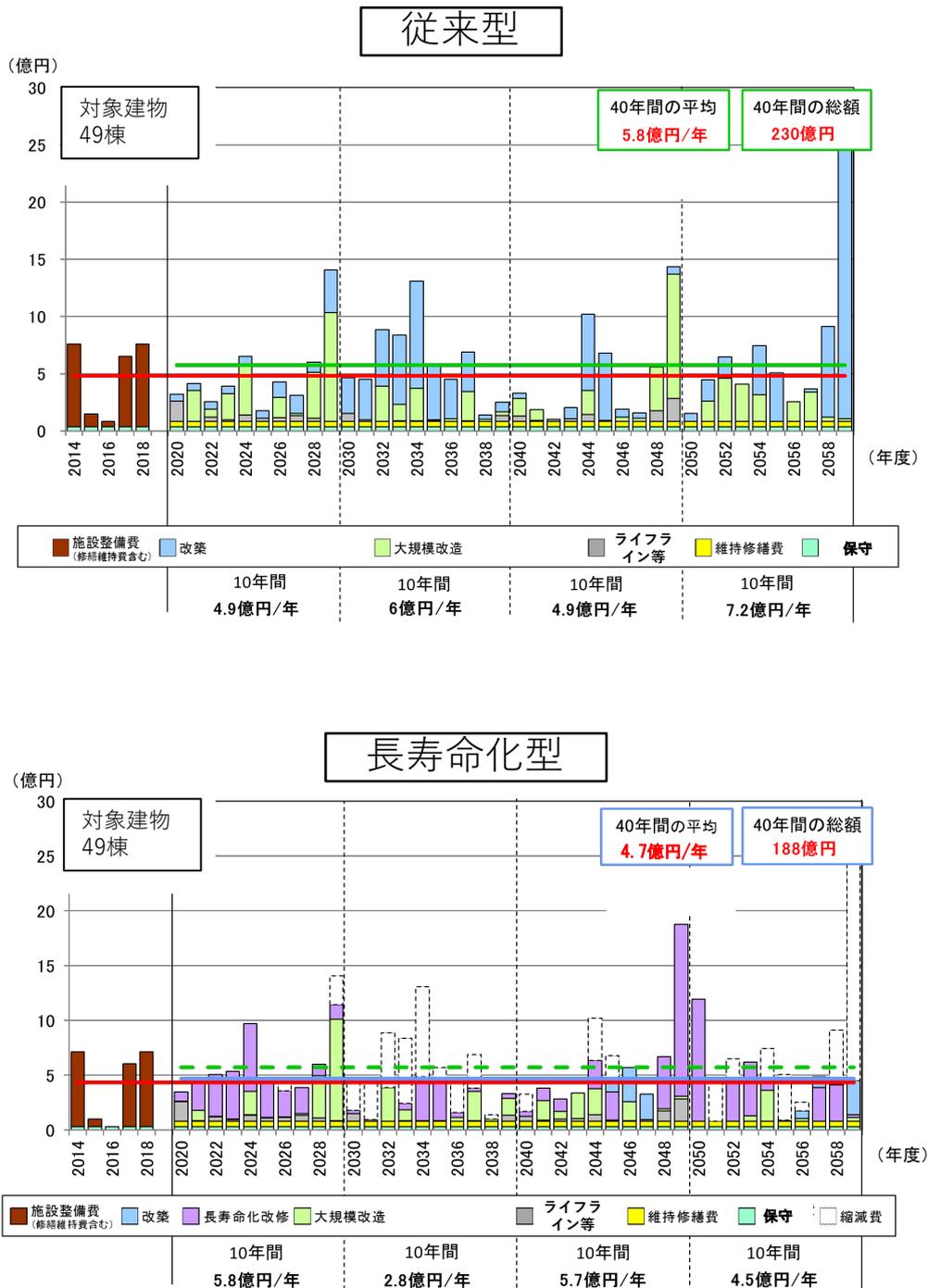
ライフライン年次計画 (直近5年抜粋 令和3年から令和7年)

区分	令和3		令和4		令和5		令和6		令和7	
	数量	金額(千円)	数量	金額(千円)	数量	金額(千円)	数量	金額(千円)	数量	金額(千円)
機械設備 (給排水、ガス、消火)										
彦根団地 合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石山団地 合計		278,300		0		0		0		0
膳所団地 合計		0		0		0		0		0
あかね団地 合計		0		0		0		0		0
機械設備 (昇降機)		0		0		0		0		0
機械設備 全団地 合計		278,300		0		0		0		0
区分										
電気設備 (電力、通信、ケーブルラック)										
彦根団地 合計		0		0		0		0		0
石山団地 合計		0		0		0		0		0
膳所団地 合計		50,000		0		0		0		50,000
あかね団地 合計		0		0		0		0		0
電気設備 (LED照明)		6,600		0		(あかね)		(あかね)		6,600
電気設備 団地全体 合計		56,600		0		0		0		56,600
機械設備・電気設備合計		334,900		278,300		0		0		56,600

## (2) 長寿命化コストの見直し・縮減の検討

### 1) 個別修繕経費の把握 (第一段階)

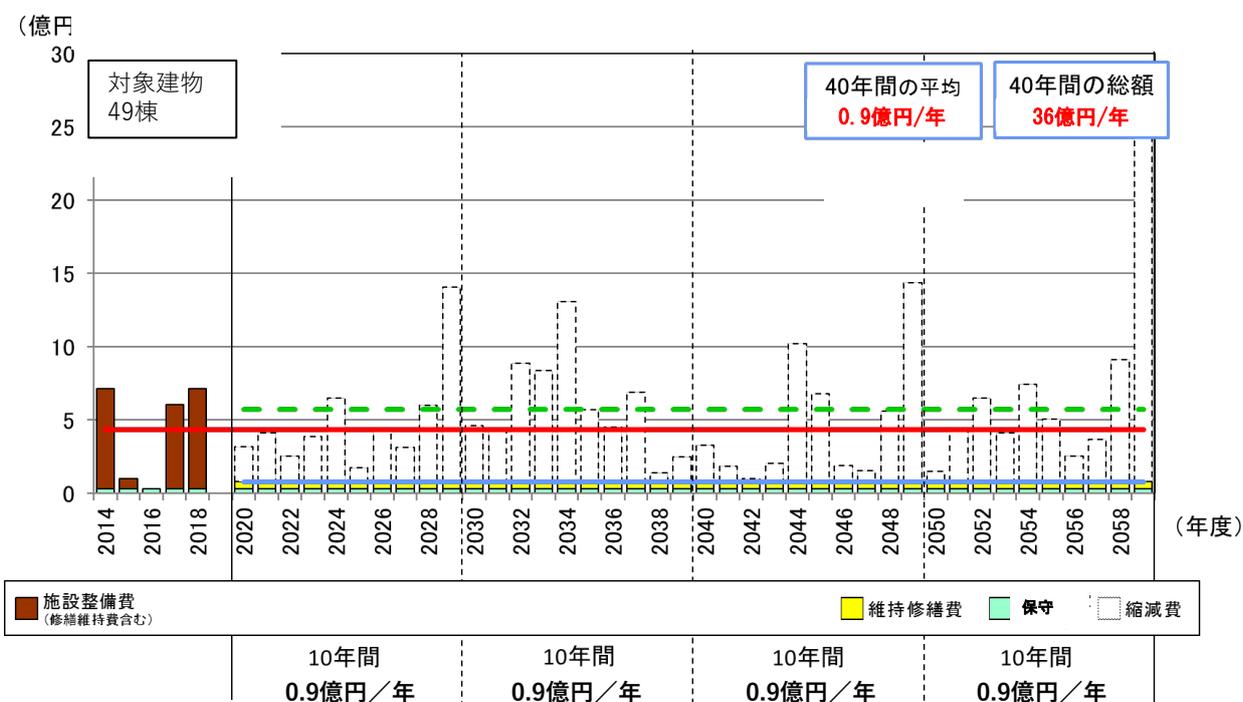
#### ・従来型と長寿命化型の比較



改築を主とした従来型の改修では年平均5.8億円必要であるが、長寿命化型の改修をすることにより年平均4.7億円まで縮減できることが判明した。しかし、年4.7億円という金額は大学予算では到底確保できない金額のため第二段階の検討として改修周期の見直しと施設整備費補助金での予算措置範囲の検討を行う。

## 2) 施設整備費補助金等での予算措置検討 (第二段階)

前項「3. 学校施設整備の基本的な方針 (P15)、4) 改修周期の設定」をそれぞれ10年延ばし、大規模改造 (周期30年) と長寿命化改修 (周期60年) に変更し、なおかつ大規模改造及び長寿命化改修の予算を施設整備費で整備すると仮定する。



上記のとおり大規模改造及び長寿命化改修を施設整備費補助金で予算措置されることを前提として検討すると、年平均9千万円必要となり、現状の大学予算 (維持管理費) 8,100[千円]近づく。

しかし施設整備費補助金等の国の予算措置は不確定な要素であるため今後、コスト縮減の検討を進めていかなければならない。

### (3) コスト縮減の検討

今後のさらなる縮減のため下記項目を検討する。

1. LED化の推進
2. 講義室稼働率見直しによる有効スペースの活用
3. 施設スペースの貸出
4. 施設のトリージ（既存施設の集約化）
5. 戦略的な施設マネジメントの推進
6. PFI事業の導入
7. 民間施設の活用
8. 駐車場料金の見直し
9. ネーミングライツ事業の実施